

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



「おなじ星を見ていた - ギャリックスの架ける虹 - 里の春」
内田 新哉

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人

<会長の時間>

先週の CLP 例会にはそれぞれのグループで活発に意見を出して頂き有難うございました。やはり 30 分では短くて、途中で切った様な形になり申し訳なく思っています。時間が有ればそれぞれのグループで話し合った内容を発表して頂く予定でしたが出来なかつたので、議事録からピックアップしてお話させていただきます。



今回は 2 回目とだからと言う訳でも無いと思いますが、案として出させて頂いた組織図についてのご意見が多かったように思います。主だったご意見を挙げてみますと

- ① 5 つの大委員会に分かれているので、大委員長が理事を務めるなどそれぞれから理事を出すというのではないかと。
- ② 委員会の構成につきましても
 - * 会員数対して委員会の数が多すぎるのではないかと。
 - * 当クラブで積極的に取り組んでいく活動の委員会を検討し、減らす委員会があっても良い。そしてクラブや活動の特色を持たせた組織図にすることが望ましい
 - * 委員会がグループ化されることで、委員会同士の協力が得やすくなり、委員会ごとの人員の流動性を持たせる組織が出来ると良い。また経験の少ない委員長も大委員長やグループ内で相談できる環境になれば良い。
 - * アクティブに活動するためにも小委員会から再編する必要があり、大グループにこだわらず横断的に委員会を再編した仕組み作りが効果的だと考える。
- ③ 戦略検討会議の位置づけについても重要な処なので、数年の継続した議論が出来る様な仕組みにしたほうが良い。そしてその中に会長経験者などベテランを入れるのも一つの案だと思う。
- ④ 新入会員のサポートが大切で、そのサポート体制がしっかり出来ていないと女性会員が入って来て来てもダメだと思う。
- ⑤ 組織の抜本的改革が必要であり、組織(案)図を基に進めるべきだと思う。

この様な力強い意見も有り有り難しく思います。まだまだ沢山有りますが詳しくは会報に載せて頂いておりますので、読んで頂ければと思います。

今年度は先週の例会を持ちまして、CLP や戦略計画についての検討会は終わりとなります。遠藤会長エレクトからお話有りました様に、今年度話し合った事を土台として、来年度も議論を重ね、必要ならば規約の改正も行いながら新しい仕組みを作り、その次の年度でスタートすると言う事でございます。当クラブに相応しい新しい形が作られることを楽しみにし、これからも皆さんと共に考えて頂く事をお願いし会長の時間といたします。

<幹事報告>

- ◎ 斐太高等学校インターアクトクラブ、高山ロータリークラブより
 - ・ 第 42 回インターアクト年次大会 開催のご案内
 - 日時 8 月 4 日 (日) 12:30 点鐘 5 日 (月) 12:15 閉会点鐘
 - 会場 国立乗鞍青少年交流の家
- ◎ 濃飛グループ次期ガバナー補佐より
 - ・ 濃飛グループ次期会長・幹事懇談会開催のご案内
 - 日時 5 月 18 日 (土) 11:30~15:00
 - 会場 山陣
- ◎ 地区青インターアクト委員会委員長より
 - ・ 韓国派遣報告書
- <例会変更>
 - 高山 … 令和元年 5 月 2 日 (木) は、法定休日により 休会
 - 令和元年 5 月 30 日 (木) は、新緑家族例会のため
 - 6 月 2 日 (日) 上高地 に 変更

<受贈誌>

不破 RC (会報)、高山市文化協会 (広報高山の文化)、生駒時計店 (ロータリーカタログ)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	30 名	2 名	32 名	40 名	80.00%
本日	36 名	-	36 名	40 名	90.00%

<本日のプログラム>

環境保全委員会

委員長 長瀬 達三

本日の例会は、バイオマス発電の専門家である谷淵さんにお越しいただきました。簡単に谷淵さんのプロフィールを紹介させていただきます。



1972 年に三重県四日市市にて生まれ、幼少期から小学校までを過ごされました。中学校からは岐阜県瑞浪市にある麗澤瑞浪中高等学校にて寮生活を行い、大学・大学院は三重大学生物資源学部へ進学。研究課題は木質バイオマスガス化発電がテーマで、卒業後は、滋賀県の関西産業㈱にてバイオマス事業の営業から設計・開発など幅広い業務を経験。2005 年 10 月に独立し、2006 年 4 月から個人業として高山バイオマス研究所を立上げ、バイオマス事業に関するコンサルタント事業を営んでいらっしゃいます。

近年ではコンサルタント事業を行いながら、市内でバイオマス発電所やペレット工場の経営を行っていらっしゃいます。

インスピレーションになろう

例会報告

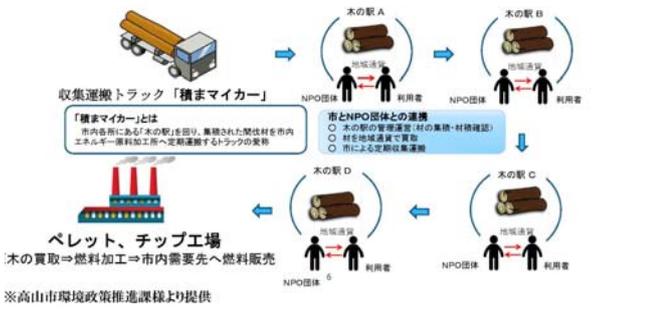
そんな谷淵さんに、本日は「自社発電事業とバイオマス事業の役割」と題して、しづきの湯における自社事業例と現在求められているバイオマス事業の役割や可能性についてご説明いただき、全国で実施されているバイオマス事業をご紹介します。谷淵さんよろしくお祈りします。



自社発電事業とバイオマス事業の役割
飛騨高山グリーンヒート合同会社 代表取締役 谷淵 庸次 様

～木の駅プロジェクトの促進～ 「積みマイカー」間伐材収集運搬事業

●未利用間伐材(林地残材)を利用した木質バイオマス燃料の市内への安定供給
●地域通貨による地域内経済の循環

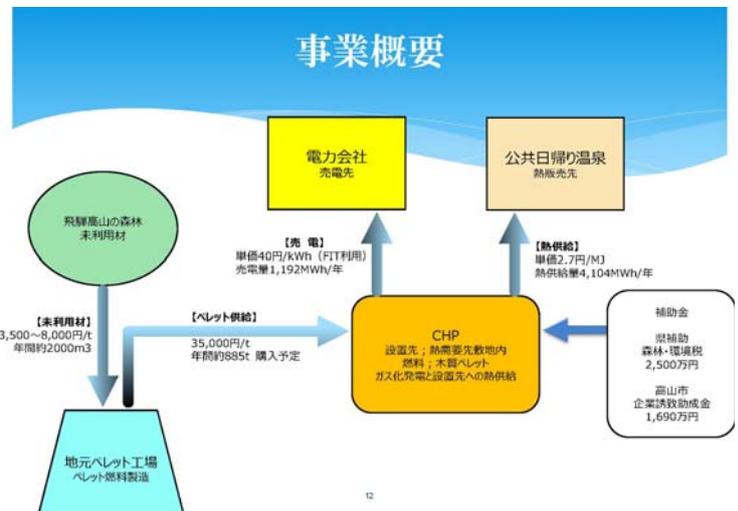


※高山市環境政策推進課様より提供

『しづきの湯における熱電併給事業の概要』

- 事業着手に向けた考え方
 - ・エネルギー問題を考える中で、地域資源（木質バイオマス）によるエネルギー循環を推進したい。
 - ・我々の事業をモデルとして普及を図る。
 - ・環境と観光を結んだ地域振興を図りたい。
- 電力会社による接続制限
 - ・以下の期間について制限を行う。
 - 4月～6月土日祝日AM8：00～18：00
 - 9～10月土日祝日AM8：00～18：00
 - ・理由：既存の接続契約により、接続枠が限界に達しており、上記期間は新たな送電を行う事が出来ない。特に高山市地域は電力需要より発電量が多く、送電線に負担がかかっている。
- ※ 現在、岐阜⇄高山をつなぐ送電線には新たな高圧接続が困難である。

- 事業の特徴
 - ・CHP（熱電併給設備）で電気と熱の販売を行う。
 - ・システム基本設計は自社設計で実施。
 - ・市内未利用材由来の原木を利用したペレットを使用。
 - ・電力は固定買取制度（FIT）により売電する。
 - ・熱は固定価格で公共温浴施設「しづきの湯」へ販売する。
 - ・本システムにおける民間熱電併給施設導入、熱供給事業は全国初。
 - ・機器自体は西日本導入1号機、全国2号機。
 - ・60Hz圏での利用開始は世界初。



- 熱需要先のメリット
 - ・灯油の価格変動に左右されにくい安定した経営が可能になる。単価は市役所協議の元、灯油換算80円/L同等とする。
 - ・見学者受け入れの際に、協力金として1人当り600円（入浴券発行）を提供する。
 - ・熱販売に対する配慮：計画値以上の熱利用を行った場合、計画値を超える熱は無料で提供する。試算上、灯油換算65円/Lでの熱利用の可能性あり。

公共施設を活用した地域の民間事業者による熱供給ビジネス事業

○木質バイオマスによる熱供給ビジネスを進めることで、市内における木質バイオマスの需要拡大、地域経済の活性化、森林再生を進め、自然エネルギーの利用を市民の暮らしの豊かさにつなげる自立循環型のまちづくりを実現
○パイロット事業として、公共施設の中で安定的に熱需要の大きい温浴施設に導入



（スタッフアップ）民間施設への熱供給ビジネスの拡大
※高山市環境政策推進課様より提供

熱電併給事業の条件

※弊社基準

項目	条件	備考
原木調達量	2,000 m ³ /年	
ペレット調達単価	35 円/kg	税別
ペレット消費量	110 kg/h	年間850t/年程度
年間売電量	1,192 MWh/年	
売電収入	47,690 千円/年	税別
売熱収入	11,080 千円/年	税別
ランニングコスト	40,000 千円/年	減価償却費・返済関係別

- * 関係者の理解(市役所・指定管理者など)
- * 原木調達の確保(地域外への流出を軽減)
- * 燃料製造工場の協力(燃料の証明・品質など)
- * 金融機関の協力(リスクの共有)

『地域におけるバイオマスの価値』

- ・地域内での資金循環
 - ・固定した税収の確保
 - ・地域内雇用の創出
 - ・雇用確保による労働力の流出抑制
- 期待できる雇用： 林内作業員、製材作業員、燃料製造作業員、物流関係
- ※バイオマス以外の再生可能エネルギーでは雇用創出はほぼ不可能

『バイオマス事業の新たな役割(市内での可能性)』

- 災害対策事業
- ・通常時はバイオマス発電はFITで売電し、電力会社からの電気で行う。
 - ・バイオマス発電で発生した熱を敷地内の住宅へ販売。
 - ・災害時には、バイオマス発電の電力と熱で生活を行う。
 - ・災害時に断水した場合でも、受水槽で一定期間対応が出来る。

『バイオマス事業の問題点事業化に向けた検討事項』

- 事業化の落とし穴
- ・過度な原料供給：特に木質バイオマスは既存の流通との競合や、森林資源に制限があるため、過度な供給は森林の適正な維持が出来ない、地域内では調達できないなどの問題が発生する。
 - ・化石燃料に左右される計画：関係者が自社利益を追求するとひずみが発生し、事業が回らなくなる。特に熱需要先は化石燃料の単価が下がるとバイオマスの利用を制限するなど事例があるが、これでは燃料供給事業が成立しない。



<ニコニコボックス>

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

本日ゲストとしてお忙しい中お越し頂きました、飛騨高山グリーンヒート合同会社代表取締役 谷渕 庸次 様ようこそお越しいただきました。後ほどの卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。先週のCLP例会、活発な意見交換有難うございました。今年度はこれで終わり来年度に引き継ぎたいと思います。遠藤会長エレクト、宜しくお願いします

●長瀬 達三さん、岡田 賛三さん

谷渕さん、今日はよろしくお祈りします。

●狭土 貞吉さん

先週二つもお祝いを頂きました。俳壇に掲載されましたので。

●斎藤 章さん

今月夫婦揃って誕生日祝いを頂きました。ありがとうございます。来月は結婚記念日のお祝いを頂きます。すべて併せて健康に感謝して。

●住田 泰典さん

大学生の長男が中国の北京へ1年間の日程で留学しました。中国へ遊びに行く口実が出来ました。長男より私の方がワクワクしていません。ちょっと嬉しいです。

●塚本 直人さん

お陰様で長男が中山中学校に入学し元気に通うようになりました。校歌を歌っている姿を見てホッとすると同時にとても嬉しく思いました。皆様に感謝いたします。ありがとうございます。

●古橋 直彦さん

久しぶりの例会ですが残念ながら早退します。14・15日春の高山祭、良い天候に恵まれますように祈ります。

●伊藤 松寿さん、岡田 賛三さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、鴻野 幸泰さん、大村 貴之さん、井上 正さん、新井 典仁さん、山下 直哉さん、田邊 淳さん、黒木 正人さん、萱垣 敬慈さん、

日本銀行券が20年ぶりに新しくなります。皆さん新しくなる前に手持ちの現行紙幣を使い切りましょう!!